

2019年6月20日

各位

株式会社 福井銀行

国際協力機構（JICA）が発行する「社会貢献債（ソーシャルボンド）」への投資について

株式会社福井銀行（頭取 林 正博）は国連の提唱する「持続可能な開発目標（SDGs）※1」の考え方を経営戦略の軸に組み込み、銀行業を通して持続可能な社会の実現につなげていくため、2018年12月19日に「福井銀行グループSDGs宣言」を制定し取組みを行っております。

今回、SDGsに関する取組みの一環として、独立行政法人国際協力機構（以下「JICA」）が新たに発行する社会貢献債（ソーシャルボンド）※2である「JICA債」への投資を実施しましたのでお知らせいたします。

1. 投資の目的

JICA債に投資された資金は、開発途上国の経済・社会の開発、日本及び国際経済社会の健全な発展のために使用されます。福井銀行はJICA債への投資を通じて持続可能な国際社会づくり、すなわちSDGsの達成に貢献いたします。

なお、JICA債の発行は日本政府が2016年12月に策定した「持続可能な開発目標（SDGs）実施指針」において「ゴール17（パートナーシップで目標を達成しよう）」の具体的な施策として掲げられております。

2. JICA債の概要

債券名	第48回国際協力機構債券
発行総額	100億円
福井銀行購入額	5億円
期間	10年
発行日	2019年6月20日

※1 SDGs

将来の世代が安心して暮らせる「持続可能な社会」を実現するために、2015年9月の国連サミットで採択された世界共通の課題に対する国際目標。

※2 社会貢献債（ソーシャルボンド）

国際資本市場協会（ICMA）により定義され、サステナブル投資の発展・普及に向けて、環境問題に加え社会課題の解決を目的とした債券。調達資金は、社会開発に資する事業（基礎インフラ開発、社会サービスへのアクセス改善など）に活用される。

以上